

~タイトルを作成マニュアル~

YouTube から集客をしようと思えば、サムネイルとタイトルはかなり重要な部分となります。

今回はその中でもタイトルの作り方に焦点は当ててお話をしていきます。

タイトルを作るときの絶対ルール

メインのキーワードを必ずタイトルの中に入れ込むようにしてください。

例えば狙いたいキーワードが

坐骨神経痛 右足のしびれ 改善

と言うようなキーワードで狙いたい場合は、上記の 3 つのキーワードを必ず入れます。

この時にキーワード入れずにタイトルを作ると SEO 上不利になることがあります。

この原則は必ず守るようにしましょう。

特典の部分でお渡しをしていますが、タイトルには決まった形があります。

- ①数字を用いる
- ②疑問形を用いる
- ③逆張りをを用いる

上記 3 つのパターンがあります。

先ほどのキーワードで上記の 3 つを用いてタイトルをつくります。

- ①坐骨神経痛で右のしびれを改善するための **3 つ**の方法
- ②坐骨神経痛による右のしびれを改善するために**ストレッチ**をしては**絶対**にいけない？
- ③坐骨神経痛による右足のしびれを改善したいなら、**マッサージ**は**絶対**だめ

このようなイメージです。

基本の形はこれらを使って作成していくのがベストです。

その他にもタイトルとして有効なテンプレートが

.....

絶対に〇〇してください

〇〇の方へ

閲覧注意。〇〇

〇〇で、〇〇する方法

絶対に失敗しない。〇〇の方法

.....

これらも例文を出します。

絶対に〇〇してください

坐骨神経痛で右足がしびれている。改善したい方は、絶対にこのストレッチしてください。

〇〇の方へ

必ず坐骨神経痛による右足の痺れを改善したい方へ

閲覧注意。〇〇

閲覧注意。この方法をするとう坐骨神経痛による右足の痺れが改善しなくなります・・・

〇〇で、〇〇する方法

ある1つのストレッチをするだけでなく、坐骨神経痛による右足のしびれを改善できる方法

絶対に失敗しない。〇〇の方法

絶対に失敗しない。坐骨神経痛による。右足のしびれ改善方法、

この様な形で当てはめていきます。

【】にパワーワード入れる

例えば

【驚愕】

【最新】

【裏技】

などのように、ぱっと見たら興味を引くものです。

例えば

【最新】業界人だけしか知らない腰痛の治し方

【驚愕】毎日ストレッチしても改善しない腰痛がこの方法だけで全て治ってしまった

【裏技】誰にも教えたくない腰痛を治す裏技

なんか凄そうでしょ。

どちらかと言えば、このキーワードは再生回数を稼ぐためにします。

これはショート動画にはとても有効です。

最初にキーワードを全て詰める

また、最初にキーワードを入れてしまうのも、SEO 的には効果があります。

例えば、先程の例でいくと

【坐骨神経痛、右足のしびれ改善】絶対に失敗しない方法とは？

このようなイメージで作ります。

タイトルの前半にキーワードがある方がSEO対策になるというのは今も昔も変わっていません。

テクニックにはなりますが、覚えておいて損はありません。

ネガティブワードから注意を引く方法

こちらも逆張りに似ていますがインパクトが大きいキーワードです。

1) 絶対禁止

2) ○○な人はやらないください

こんな感じです。

それぞれ例文を出しますs。

1) 絶対禁止

この治療方法は絶対禁止！坐骨神経痛による右足のしびれを改善したいならだめ

2)〇〇な人はやらないでください

坐骨神経痛による右足のしびれを改善したい人ならこの方法やらないで下さい。

この様な形です。

- ・まだ家を買うな
- ・〇〇〇ワクチンは絶対に打つな
- ・絶対に〇〇な株を買ってはだめ
- ・一攫千金を狙いたい人はやらないで下さい。

他業種でもよく使うのがネガティブキーワードです。

年齢で区切る方法

この方法はとても有効です。

ドモホルンリンクルもこの方法で 40 歳以上の基礎化粧品と言うポジションを作り上げました。

60 歳以上からの筋トレの方法

50 歳以上で坐骨神経痛を治すストレッチ

などのようなイメージです。

年齢と上記の内容を組み合わせるといいです。

例文)

50 歳以上の方が坐骨神経痛で右足のしびれを改善したいなら絶対にやってはいけないこととは？

視聴さんが画面の向こう側にいる事を忘れてはいけない

絶対に忘れてはいけない視聴者と言う存在。

テクニック的なものや基礎的なお話をしましたが、やはり目の前に視聴者さんがいるのには変わりありません。

そこを無視して動画やタイトルを作ってもクリックされる可能性は低いです。

動画を作るときに、

必ず患者さんを題材に動画を作りましょう。

ということをお話しをしています。

あくまでも患者さんがいた時に『こんな動画見たいと思っていたんです』

と言うふうに興味を持ってもらわなければいけません。

これは絶対に必要なことなのでぶれないように注意をしましょう。